

第7回海陽町立海南病院改革検討委員会 会議次第

日 時：令和3年10月5日（火）

午後6時30分～

場 所：海陽町役場 海南庁舎3階大会議室

1. 開 会

2. 委員長あいさつ

3. 議 題

・ 報告事項

（1）第6回検討委員会の協議事項について

（2）令和2年度海南病院事業会計決算状況等について

・ 協議事項

（1）海南病院改革計画（令和2年度）の検証について

（2）令和3年度の新しい取り組みについて

（3）その他

4. 閉会

報告事項

(1) 第6回検討委員会の協議事項について

日 時：令和2年11月24日（火）午後7時～午後8時30分

議 題：

- ・報告事項

- ① 第5回検討委員会の協議事項について

- ・協議事項

- ① 海南病院改革計画（令和2年度～令和4年度）について

- ② その他

※第6回検討委員会においての主な意見

- ・住民に信頼されるには、海南病院が変わったことを知って頂かなければならないので、広報が大切である。
- ・厚生労働省が海南病院を再編・統合を検討する病院に指定された意味を考えれば、海南病院のあり方は、海陽町だけで考えるのではなく、海部郡全体で考えるべき。
- ・南部地域において、経済的な事を考える事は大事な事ですが、それを考えつつ公的な病院は病床を確保しなければならない。海部病院と役割分担しながら、病床については余裕を持たして欲しい。
- ・訪問診療、訪問看護、訪問リハビリでの対象者は同じ方が多いと思う。具体的な対象者を出し、シミュレーションすれば、目標より多くなると思う。
- ・海南病院改革はこれからが始まりであり、町民から厳しい意見が出てくると思われる。しかし、多くの町民は、海南病院の存続を願っており、職員の皆様には共通の問題意識を持って頂き、目標達成に向けて、日々検証を実践して頂く。

(2) 令和2年度 海南病院事業会計決算状況等について

○決算参考資料

	平成27年度 実 績	平成28年度 実 績	平成29年度 実 績	平成30年度 実 績	令和元年度 実 績	令和2年度 実 績	対前年度比較
入院患者数(人)	7,000	8,192	7,037	5,887	6,297	6,945	648
外来患者数(人)	18,368	19,063	18,511	16,548	18,381	16,692	△ 1,689
病床利用率(%)	42.5	49.9	42.8	35.8	38.2	42.3	4.1
他会計繰入金(千円)	330,000	280,000	240,000	251,200	285,000	229,769	△ 55,231

年度別損益計算書

海 南 病 院
(単位：千円)

年 度 勘定科目	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	令和元年度 決算額	令和2年度 決算額	増 減	比 較 %	備 考
1. 医業収益	288,898	274,197	243,082	260,538	286,964	26,426	10.1	
(1) 入院収益	182,155	175,276	150,951	160,265	179,866	19,601	12.2	入院患者数の増 +648人
(2) 外来収益	88,410	80,675	74,570	81,401	85,893	4,492	5.5	外来単価の増
(3) その他医業収益	18,333	18,246	17,561	18,872	21,205	2,333	12.4	インフルエンザ接種者の増 +433人
2. 医業費用	520,066	519,847	517,762	569,427	529,441	△ 39,986	△ 7.0	
(1) 職員給与費	346,979	350,354	342,424	395,680	334,122	△ 61,558	△ 15.6	医師2名減、看護師3名減、 退職手当特別負担金(3名)の減
(2) 材料費	39,364	30,818	27,167	25,209	26,918	1,709	6.8	
(3) 経費	80,679	85,727	94,135	94,799	103,424	8,625	9.1	医事業務委託料の増、補償金 医師徳島大学寄附講座負担金
(4) 減価償却費	48,681	49,292	52,861	52,984	64,458	11,474	21.7	エスコ事業による減価償却費の増
(5) 資産減耗費	3,255	2,807	419	26	34	8	30.8	
(6) 研究研修費	1,108	849	756	729	485	△ 244	△ 33.5	
3. 医業外収益	216,449	213,089	223,266	257,137	208,194	△ 48,943	△ 19.0	
(1) 受取利息配当金	0	0	0	0	0	0	0.0	
(2) 国県補助金	4,388	4,088	4,659	5,195	9,601	4,406	84.8	コロナ緊急包括支援事業補助金 発熱外来診療体制確保支援補助金
(3) 一般会計繰入金	204,607	200,337	209,975	238,749	182,748	△ 56,001	△ 23.5	一般会計繰入金の減
(4) 国保事業補助金	0	0	0	0	0	0	0.0	
(5) その他医業外収益	7,454	8,664	8,632	13,193	15,845	2,652	20.1	エスコ事業による 長期前受金戻入金の増
4. 医業外費用	8,894	7,691	8,106	7,773	7,439	△ 334	△ 4.3	
(1) 支払利息	6,980	6,242	5,806	5,379	4,989	△ 390	△ 7.3	
(2) その他の医業外費用	1,914	1,449	2,300	2,394	2,450	56	2.3	
5. 特別収益	0	0	1,496	0	3,775	3,775	100.0	
(1) 過年度分損益修正益	0	0	1,496	0	3,775	3,775	100.0	
6. 特別損失	2,135	1,680	0	0	0	0	0.0	
(1) 期間外費用	0	0	0	0	0	0	0.0	
(2) その他特別損失	2,135	1,680	0	0	0	0	0.0	
収益総額(1+3+5)	505,347	487,286	467,844	517,675	498,933	△ 18,742	△ 3.6	
費用総額(2+4+6)	531,095	529,218	525,868	577,200	536,880	△ 40,320	△ 7.0	
当期間純損益	△ 25,748	△ 41,932	△ 58,024	△ 59,525	△ 37,947	21,578	△ 36.3	

現金貯金 24,824 29,927 31,014 10,972 21,204

協議事項

(1) 海南病院改革計画(令和2年度)の検証について

海南病院改革計画検証(令和2年10月～令和3年3月)

取組項目	目標 (R2. 10)	実績 (R2. 10)	達成率	目標 (R2. 11)	実績 (R2. 11)	達成率
入院収益	17, 100, 000円	18, 611, 639円	108. 8%	16, 500, 000円	17, 269, 115円	104. 7%
延人数	713人	677人	95. 0%	690人	656人	95. 1%
利用病床数	一般15・包括8床	一般13・包括9床	95. 7%	一般15・包括8床	一般13・包括9床	96. 9%
外来収益	6, 720, 000円	6, 584, 335円	97. 8%	6, 720, 000	6, 078, 109円	90. 4%
延人数	1, 400人	1, 635人	116. 8%	1, 400人	1, 363人	97. 4%
訪問看護(医療)	—	—	—	—	—	—
訪問看護(介護)	—	—	—	—	—	—
巡回診療	3人 7, 010円	3人(7人) 7, 000円	99. 9%	3人 7, 010円	2人(5人) 5, 600円	79. 9%
訪問診療	5人 143, 000円	6人 170, 000円	118. 9%	5人 143, 000円	6人 155, 730円	108. 9%
訪問リハビリ	5人 195, 000円	4人 178, 560円	91. 6%	5人 195, 000円	6人 247, 880円	127. 1%
取組項目	目標 (R2. 12)	実績 (R2. 12)	達成率	目標 (R3. 1)	実績 (R3. 1)	達成率
入院収益	17, 100, 000円	16, 393, 601円	95. 9%	17, 100, 000円	17, 279, 618円	101. 1%
延人数	713人	626人	87. 8%	713人	718人	100. 7%
利用病床数	一般15・包括8床	一般11・包括10床	91. 3%	一般15・包括8床	一般16・包括7床	100. 0%
外来収益	6, 720, 000円	7, 102, 409円	105. 7%	6, 720, 000円	6, 060, 852円	90. 2%
延人数	1, 400人	1, 404人	100. 3%	1, 400人	1, 201人	85. 8%
訪問看護(医療)	2人 23, 200円	—	0%	2人 23, 200円	—	0%
訪問看護(介護)	—	—	—	—	—	—
巡回診療	3人 7, 010円	0人(3人) 0円	0%	3人 7, 010円	0人(5人) 0円	0%
訪問診療	5人 143, 000円	6人 160, 550円	112. 3%	5人 143, 000円	6人 165, 520円	115. 7%
訪問リハビリ	5人 195, 000円	6人 237, 280円	121. 7%	6人 234, 000円	5人 153, 820円	65. 7%

取組項目	目標（R3.2）	実績（R3.2）	達成率	目標（R3.3）	実績（R3.3）	達成率
入院収益	15,400,000円	16,451,661円	106.8%	17,100,000円	15,146,779円	88.6%
延人数	644人	614人	95.3%	713人	557人	78.1%
利用病床数	一般15・包括8床	一般14・包括8床	95.7%	一般15・包括8床	一般13・包括6床	82.6%
外来収益	6,720,000円	6,191,960円	92.1%	6,720,000円	7,729,507円	115.0%
延人数	1,400人	1,172人	83.7%	1,400人	1,435人	102.5%
訪問看護（医療）	2人 23,200円	—	0%	2人 23,200円	—	0%
訪問看護（介護）	—	—	—	—	—	—
巡回診療	3人 7,010円	0人(8人) 0円	0%	3人 7,010円	1人(6人) 2,880円	41.1%
訪問診療	5人 143,000円	6人 170,300円	119.1%	5人 143,000円	5人 161,130円	112.7%
訪問リハビリ	6人 234,000円	5人 142,900円	61.1%	6人 234,000円	7人 245,100円	104.7%

取組項目	目標 (R2.10~R3.3)	実績 (R2.10~R3.3)	達成率 (R2.10~R3.3)
入院収益	100,300,000円	101,152,413円	100.8%
延人数	4,186人	3,848人	91.9%
利用病床数	一般15・包括8床	一般13・包括8床	91.3%
外来収益	40,320,000円	39,747,172円	98.6%
延人数	8,400人	8,210人	97.7%
訪問看護（医療）	8人 92,800円	—	0%
訪問看護（介護）	—	—	—
巡回診療	18人 42,060円	6人 15,480円	36.8%
訪問診療	20人 858,000円	35人 983,230円	114.6%
訪問リハビリ	33人 1,287,000円	33人 1,205,540円	93.7%
一般会計繰入金 （資本的収支分は除く）	169,692,000	182,748,301	92.8%

海南病院改革計画における令和2年度実績について

海南病院収支計画(令和2年度から4年度)

収入

(千円)

年度	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(目標)	R2年度(実績)	達成率(%)	R3年度(目標)	R4年度(目標)
改革年数	—	—	1年目			2年目	3年目
入院収益	150,951(11・4床)	160,265(12・5床)	176,369(14・7床)	179,866(12・7床)	102.0	242,700(20・10床)	335,784(27・12床)
外来収益	73,292(16,548人)	79,956(18,381人)	81,422(16,882人)	82,050(16,692人)	100.8	86,400(18,000人)	95,040(19,800人)
訪問看護(医療)	—	—	8人 92	0人 0	0.0	60人 696	84人 974
訪問看護介護)	—	—	—	—	—	60人 564	84人 790
巡回診療	—	—	24人 54	12人 27	50.0	120人 345	144人 414
訪問診療	40人 1, 210	19人 598	50人 1, 431	55人 1,557	108.8	120人 3, 432	144人 4, 118
訪問リハビリ	20人 68	31人 847	60人 2, 340	60人 2,259	96.5	120人 4, 680	144人 5, 616
その他収益(繰入金除く)	32,348	37,260	32,700	32,822	100.4	33,200	33,700
収入 計	257,869	278,926	294,408	298,581	101.4	372,017	476,436

支出

人件費	342,424	395,680	340,600	334,122	98.1	383,500	390,800
経費	124,358	121,995	123,500	131,990	106.9	136,640	149,780
支出 計	466,782	517,675	464,100	466,112	100.4	520,140	540,580

一般会計繰入額 ※資本的収支分は除く	209,975	238,749	169,692	182,748	92.8	148,123	64,144
うち交付税算入額	70,037	69,817	69,374	69,374	—	69,374	69,374
実質繰入額	139,938	168,932	100,318	113,374	113.0	78,749	△5,230

・収入より除くもの — 繰入金、長期前受金戻入、過年度損益修正益

・支出より除くもの — 減価償却費、支払利息、雑損失

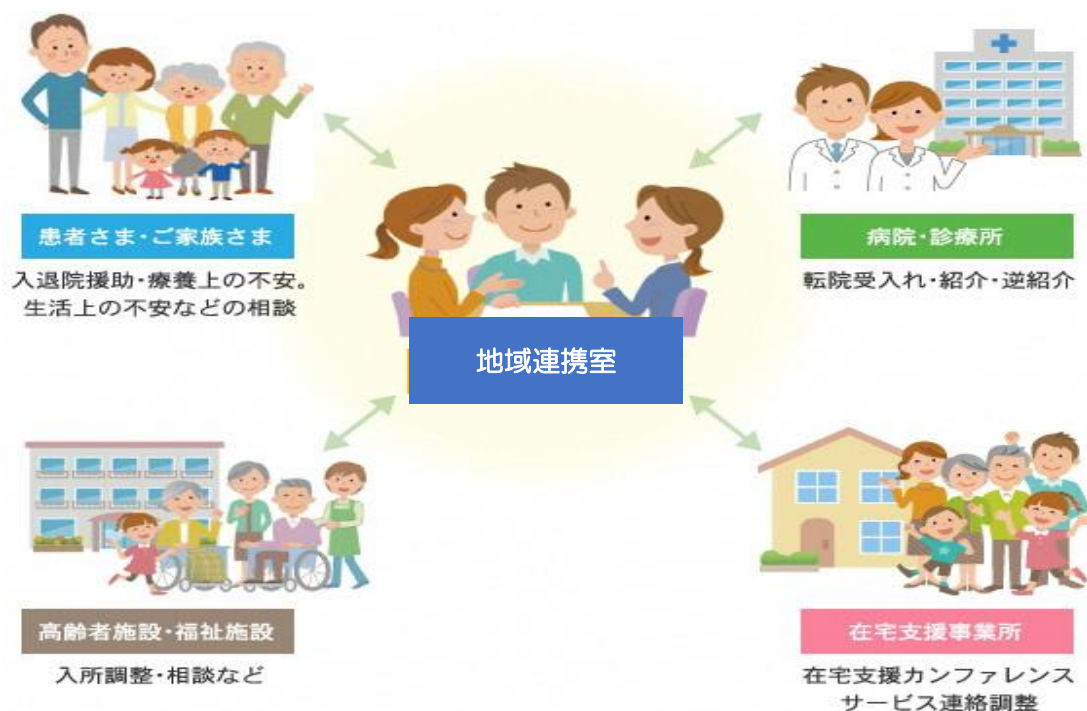
取組項目	考 察	
	令和2年度の検証内容、課題等	今後の取り組み（R3.4.1以降）
入院収益	目標は達成できたが、他院からの転院が主流のため、自院からの入院を増やす必要がある。	地域連携室を設置したことにより、関係機関と連携を密にし、より入院等の相談を増やすとともに、レスパイト入院、短期リハビリ入院等も受け入れる。
延人数	目標は達成できたが、他院からの転院が主流のため、自院からの入院を増やす必要がある。	地域連携室を設置したことにより、関係機関と連携を密にし、より入院等の相談を増やすとともに、レスパイト入院、短期リハビリ入院等も受け入れる。
利用病床数	目標は達成できたが、他院からの転院が主流のため、自院からの入院を増やす必要がある。	地域連携室を設置したことにより、関係機関と連携を密にし、より入院等の相談を増やすとともに、レスパイト入院、短期リハビリ入院等も受け入れる。
外来収益	一人当たりの診療単価は高価だったが、患者数が目標を下回ったため減となった。	コロナ禍により、来院控えはあるが、関係機関との連携、広報等により、患者数を増やす。
延人数	目標を少し下回ったが、令和3年度は各関係機関と連携を密にし、患者数を増やす。	コロナ禍により、来院控えはあるが、関係機関との連携、広報等により、患者数を増やす。
訪問看護（医療・介護）	対象者がいなかったため実施できなかった。	医療については4月に1名、介護については6月より1名に訪問を実施
巡回診療	8月より、毎月第3火曜日に神野地区で実施。受診目的ではなく、サロン目的で来ている方が多く、目標を達成できなかったため、実施方法を検討する。	8月より毎月第1火曜日に、日浅医師による巡回診療を実施
訪問診療	目標は達成できた。R3年度はさらに対象者を増やし実施する。	4月より毎月第3火曜日に加え、第3水曜日の午前中に実施し、対象患者を増やす。
訪問リハビリ	目標を少し下回ったが、需要は多くあるのでR3年度は人員体制を検討し実施する。	週3日の訪問を、10月から毎日の訪問に変更し、対象患者を増やす。
遠隔医療	令和2年度は実施できなかったが、令和3年度は実施予定。	入院患者のウェブ回診の実施。
その他	毎月、院内会議により改革計画を検証し、各部署それぞれ課題把握をし、解決に向け実践した。 R3・4年度の収益増収を図るため、入院・外来患者への対応や訪問リハビリの強化、安定した検査体制の構築など、人員の確保が必要である。	引き続き、院内会議や地域医療対策推進本部により、改革計画の検証を実施する。 目標達成に向け、医師をはじめ、看護師、理学療法士、臨床検査技師など、医療提供体制の充実が急務であり、必要な人員の確保に努める。

協議事項

(2) 令和3年度の新しい取り組みについて

海南病院地域連携室

令和3年4月1日に設置した地域連携室には、看護師と医療ソーシャルワーカーを配置し、医療機関・施設・役場・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所などと、さらに連携を図ることで、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように取り組んでいます。



活動状況(令和3年4月～9月)

- ① 転院依頼の対応・情報収集・日程調整 実績62件
- ② 退院調整 実績115件
患者様・ご家族様の意向を尊重し、退院へ向けてのサポート。
入院時面談、カンファレンス、介護申請相談、介護調査立ち合い、家屋調査立ち合い、ケアマネージャーや相談支援専門員との連絡調整。
- ③ ケース会議開催月1回(支援困難事例に対する関係機関との会議) 実績6回
- ④ 医療福祉相談 実績7件

レスパイト入院

レスパイト入院について

在宅療養中の患者さんを介護されている方の心身疲労や、体調不良等に際して、一時的に患者さんを受け入れ、介護されている方の負担軽減等の支援を目的とする入院です。

対象者

- ① 退院先が自宅または居住系介護施設の方。
- ② 主に、褥瘡処置、喀痰吸引、酸素吸入、経管栄養、気管切開、点滴等による医療措置が必要なため、介護施設の利用が困難な方。
- ③ 在宅環境の整備や介護者の休息等、事情により介護困難になった場合で、介護保険施設ショートステイの調整がつかない方。

基本的なルール

- ① 1回の入院期間は14日以内、通算60日で、地域包括ケア病床への入院となります。通算60日に到達すると、3ヶ月間空けて頂きます。
- ② 入院時には、お薬、PEG、ストーマ等の医療材料はご持参下さい。
- ③ 入院時には、状態確認のため、胸部レントゲン、心電図、採血などの検査をします。
- ④ 患者さんの状態によって、入院継続困難な場合は、入院予定期間よりも、短期間となる場合もあります。
- ⑤ 地域包括ケア病床への入院となりますが、患者さんの状態によっては、一般病床へ入院してから地域包括ケア病床へ移る場合もあります。
- ⑥ 入院中における急変時の対応、処置等について事前に家族で話し合ってください。

申し込み方法

- ① 入院予約は、かかりつけ医、ケアマネージャー、患者家族等から地域連携室（0884-73-3162）へ申し込み下さい。
- ② 入院日が決定したら、地域連携室から連絡いたします。
- ③ 入院予約日3日前までに、診療情報提供書、レスパイト入院申込書、入院申込書兼誓約書、お薬手帳を地域連携室へ提出下さい。

費用（目安）

入院1日 3,210円（1割） ごはん代1日 300円～1,380円

短期リハビリ入院

短期リハビリ入院について

介護施設等から、短期的にリハビリを目的とする入院です。

対象者

短期的にリハビリが必要な方

短期リハビリ入院 基本的なルール

- ① 入院期間は7日程度で、一般病床への入院となります。
ただし、医師の判断により延長される場合があります。
- ② 入院時には、お薬はご持参下さい。
- ③ 入院時には、状態確認のため、胸部レントゲン、心電図、採血などの検査をします。

申し込み方法

- ① 地域連携室（０８８４－７３－３１６２）へ申し込み下さい。
- ② 院予約日３日前までに、診療情報提供書、短期リハビリ入院申込書、入院申込書兼誓約書、お薬手帳を地域連携室へ提出下さい。

情報通信機器を用いた診療等

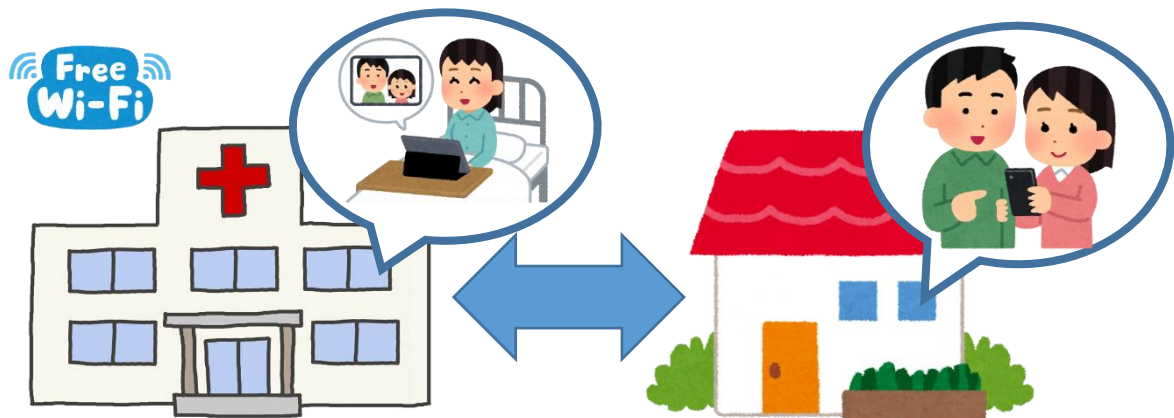
(1) FreeWi-Fi環境整備

入院患者が部屋からオンラインで家族との面会をしやすいするため、また、外来患者のご家族が、院内に入らずオンラインで面会や診療内容等の説明ができるようFreeWi-Fiの環境整備を11月より実施。

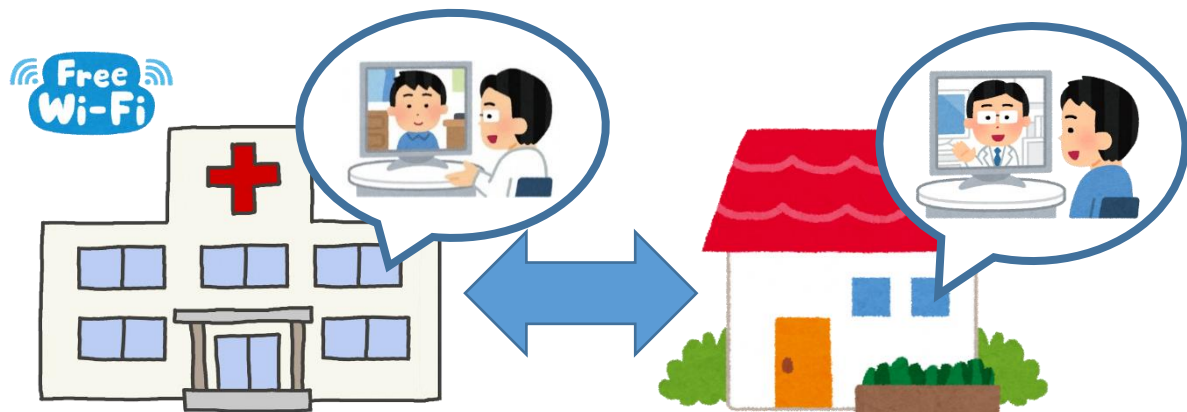
(2) 遠隔医療

ウェブにより、9月より入院患者の回診を実施。

・オンライン面会



・オンラインで診療内容の説明を受ける



海陽町地域医療対策推進本部の設置

1. 趣旨

海南病院改革の推進及び進捗管理はじめ、新型コロナウイルスワクチン接種準備、地域包括ケアの推進など、海陽町の地域医療を取り巻く喫緊の課題に機動的に対応していくため、医療、福祉等の関係機関が一体となった体制を整備し、役割と責任の分担を明確にし、町を挙げて「安心して住み続けられる」町づくりを進める。

2. 体制

本部長 三浦海陽町町長
副本部長 神澤海南病院院長
本部員 (別紙のとおり)
事務局 海南病院事務局

3. 各課題に対応するチームの設置

- ・ 海南病院改革の推進、進捗管理

海南病院 院内改革推進チーム（リーダー；渡邊医師）

（海南病院改革検討委員会（折野委員長；外部の委員会議））

- ・ 医師確保

医師確保対策チーム（リーダー；三浦町長）

- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種の準備調整

新型コロナウイルスワクチン接種推進PT（リーダー；阿部副町長）

- ・ 地域医療、福祉との連動、高齢者対応

地域包括ケア推進チーム（リーダー 長江包括ケア推進課長）

※チームの名称は一部仮、その他必要に応じチームの新設再編等、臨機応変に対応

4. 会議の開催状況

- ①第1回会議 令和3年3月1日（月） 午後6時20分～

- ・ 海南病院改革計画について
- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種推進プロジェクトチームについて
- ・ 医師確保の状況について

- ②第2回会議 令和3年4月26日（月） 午後6時10分～

- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種計画等について

- ③第3回会議 令和3年7月6日（月） 午後5時30分～

- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種計画等について

海陽町地域医療対策推進本部員名簿

令和3年4月26日改正

氏 名	所属・役職等	備 考
三浦 茂貴	海陽町長	本部長
神澤 賢	海南病院長	副本部長
日浅 芳一	海陽町地域医療シニアアドバイザー	
渡邊 美恵	海南病院医師	
白川 光雄	穴喰診療所長	
阿部 順次	海陽町副町長	
浦川 光弘	海陽町参事兼総務課長	
長江 範裕	海陽町地域包括ケア推進課長	
大崎 浩一	海陽町福祉人権課長	
池田 大作	特別養護老人ホーム海南荘施設長	
塩塚 成年	海陽町社会福祉協議会事務局長	
宮本 悟史	穴喰診療所事務長	
谷岡 恒	海南病院事務長	
石部 ひとみ	海南病院看護師長	

海陽町立海南病院改革検討委員会設置要綱

（設 置）

第1条 海陽町立海南病院（以下「海南病院」という。）が、県南部の地域医療の中核施設として存続するため、自主性や効率性が十分に発揮できる運営を目指す病院改革を検討するため、海陽町立海南病院改革検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（検討事項）

第2条 委員会で検討する事項は、次に掲げるものとする。

- （1）海南病院の改革に関すること
- （2）その他委員会で検討することが必要と認められる事項

（組 織）

第3条 委員会は、委員10名以内で組織する。

- 2 委員は、医療関係者、学識経験者、住民代表者及び行政関係者等のうちから、町長が委嘱する。

（任 期）

第4条 委員の任期は、2年とする。

- 2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長及び副委員長）

第5条 委員会に委員長1名及び副委員長1名を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選によって定める。
- 3 委員長は会務を総理する。
- 4 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

（会 議）

第6条 委員会は、必要に応じて委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

（委員の責務）

第7条 委員は、職務上知り得た情報を正当な理由なく漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(意見の聴取)

第8条 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者の意見を求めることができる。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、海南病院事務局において処理する。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この要綱は、令和元年10月21日から施行する。

海陽町立海南病院改革検討委員会委員名簿

	氏 名	ふりがな	所属・役職等	備 考
1	折野 真哉	おりの しんや	海部郡医師会監事 折野胃腸科内科院長	委員長
2	若井 孝司	わかい たかし	海陽町民生児童委員協議会会長	副委員長
3	福井 千賀子	ふくい ちかこ	地域医療を守る会 海陽町婦人会会長	
4	皆津 隆一	かいつ りゅういち	前海陽町公民館長	
5	長尾 正大	ながお まさひろ	子育て世代代表	
6	影治 照喜	かげじ てるよし	海部病院副院長	
7	森本 加奈子	もりもと かなこ	海陽町社会福祉協議会 ケアマネージャー課長	
8	白川 光雄	しらかわ みつお	穴喰診療所長	
9	日浅 芳一	ひあさ よしかず	海陽町地域医療シニアアドバイザー 海南病院内科医師	
10	阿部 順次	あべ じゅんじ	海陽町副町長	令和2年4月1日